

新入生保護者の皆様へ

教育文化学部長・教育学研究科長 佐藤 修 司

ご息女、ご子息のご入学、誠におめでとうございます。

今年度は新型コロナウイルスの影響により、入学式が中止になり、またガイダンスや授業開始も遅れることになり、皆様には大変申し訳なく思っております。大学教職員も、この未曾有の事態に対処すべく努力を続けています。ご不便、ご心配をおかけすることも多々あるかと思いますが、ご理解をいただけますようお願い申し上げます。

さて、皆様におかれましては、受験勉強の時期を過ぎ、ほっとしておられることと思います。また、子どもが一人前になり、自立していく姿を見て、その成長を実感されている方もいるでしょう。逆に、親元を離れて一人暮らしを始めることも多く、ちゃんと大学生活を乗り切れるのか、ちゃんと就職していいのか、新たな心配を持たれる方も多いかもかもしれません。

大学は終着点ではなく、通過点に過ぎないわけですので、大学としては、学生のみなさんが大学での学びを通して健やかに、立派に成長し、社会に巣立っていけるよう全力で応援していきます。ご存じのように、大学は、高校までと違い、みんなが毎朝決まった時間に登校して、担任の教員が点呼をとって、面倒を見るというようなことはありません。ただ、大学でも担任の教員を決めて、学生のみなさんの状況に対応できるようにしています。気になることがあれば、早めにご相談ください。

学生とは言え、まだまだ大人の手助けが必要などころがたくさんあります。昔に比べても、精神的な自立は遅くなり、打たれ弱くなっているということがよく言われます。転び方を知らないで、顔面を打つような転び方をしてしまいます。本当は、転ぶ経験、立ち上がる、立ち直る経験を重ねることが必要なのに、どう転ばずに、最短距離を最短時間で走るかに注意を向けがちです。転ばない指導よりも、ケガをしないようにどう転ぶか、どう立ち上がるかの指導が必要なものにも思います。人生はうまく行かない、思うように行かないことの方がよほど多いわけですから、レジリエンス、つまり、失敗や挫折からの回復力が重要になるわけです。

いずれにしましても、就職支援も含めまして、保護者の皆様のご協力が欠かせません。保護者の方で組織されている後援会と、本学部の卒業生で組織されている同窓会である旭水会は、学生の勉学や就職に向けた支援、卒業・就職後の支援に大きな力を発揮していただいています。この点についても、ご理解をいただき、ご協力をいただけますよう、切にお願いいたします。

令和2年4月吉日

追記) 本学部HPの下記のURLに、学部・研究科通信「みなおと」、教職大学院通信「暁鐘の音(かねのね)」を掲載しています。教育文化学部、教育学研究科の様々な活動を紹介していますので、ぜひご覧ください。

https://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/guide/gu_magazin.html

https://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/graduate/graduate_magazin.html